実施計画

南区社会福祉協議会 第３次地域福祉活動計画 体系図

基本理念

一人ひとりが尊重され、必要とされる社会の実現に向けて
～自立と自己実現の重視～

基本計画

- 一人ひとりが支え合う仕組みづくり
- 福祉の心をはぐくむ人づくり・まちづくり
- 学区を基盤としたネットワークづくり

実施計画

- みんながつながり顔の見える関係づくり
- 困っている人を発見・解決する仕組みづくり
- 一人ひとりが役割をもち支え合う地域づくり
- 福祉を身近に感じ、地域で活躍できる人づくり
- 住みやすい地域づくり・気軽に集える居場所づくり
- わかりやすく、みんなに伝わる情報発信
- 防災を含めた高齢者・障がい者・子どもへの支援と地域の活性化
- 多様な関係機関、団体の連携と交流

実施項目と主な内容

実施項目	主な内容	関連性が高い過去の計画の実施項目
No.１ つながるための働きかけ	声かけ隊活動などを通して、みんなが地域とつながり、支えあいのある関係をつくります。	
No.２ 困りごとを発見する仕組み	困りごとを発信できる場づくりや、自ら発信できない人を見つけるための取り組みを進めます。	
No.３ 困りごとを解決する仕組み	地域で把握された困りごとに対して、地域住民と一緒に解決していく仕組みをつくります。	
No.４ 誰もが力になる地域をつくる	支える側、支えられる側という関係にとらわれず、誰もが自分の力を発揮できる地域を目指します。	
No.５ 広がりのある福祉教育	学校のみでなく、大人も対象とした地域での福祉教育プログラムの作成や講座を開催します。	
No.６ 活動範囲を広げる交流の実施	異世代交流の場の拡大･充実を図ります。また、各分野の団体が交流できる機会を設けます。	第2次活動計画 地域における世代間交流事業の把握と他事業とのコラボレーション
No.７ 「ここバリ(心のバリアフリー)すぽっと」の拡充・推進・発展	「ここバリすぽっと」を拡充させるとともに、広く住民に知っていただくよう努めます。	第2次活動計画 福祉協力店（仮称）の募集
No.８ 気軽に集える新しいサロンの形成	今までのサロンとは違った形で自然と人が集う場所などでサロンの開催を目指します。	
No.９ ボランティアマップ(仮称)の作成・情報発信方法の見直し	ボランティア情報誌等の作成と、誰もがわかりやすく取得できる情報発信を目指します。	第1次活動計画 ボランティアサポートバンク（仮称）の設立
No.10 地域福祉推進協議会の認知度向上及び活動の推進	周知方法を改善し、効果的な研修会や交流の場づくりを推進します。	第２次活動計画 地域福祉推進協議会の地域住民へのPRと協働
No.11 障がい児・者等が参加できるイベントの推進	障がい児・者や高齢者、子どもなど、様々な人が交流できる場や機会を設けます。	第2次活動計画 障がい児･者が参加しやすい地域事業の実施
No.12 地域団体と福祉施設の交流	施設の利用者も地域住民の一員となり、つながりのある地域を目指します。	
No.13 地域団体・企業・専門機関の連携強化	様々な社会資源と連携し、多くの地域住民が関わりあえるような地域づくりを目指します。	